

9月1日（土）



秋の青空と、もくもくの入道雲。
今日は心地よい風も吹きました。



第5トレンチ北部で検出された遺構の調査を本日も継続。道跡と思われる浅い掘り込みを発掘したところ、わだち跡と思われる畝が確認されました。また、道跡に重なる深い掘り込みについては、道跡より古いことと、円が重なったような平面形をしていること（手前の黒っぽい部分）が明らかになりました。この深い掘り込みは、粘土を採掘した跡かもしれません。

第4トレンチでは、縄文時代早期の貝層の堆積状況を調べるために、貝層の一部をサンプリングをしました。



▼貝層のズームアップ写真。左上の白いものはカキ。丸い穴はボーリングの跡です。土器の破片も見えます。

